



6月～8月は、豊栄、石蔵平、一里小屋、下田屋、向野、目名、鹿橋、岩屋、古野牛川、尻労、尻屋、砂子又の12集落で円卓会議を開催しました。

※豊栄・石蔵平・一里小屋は合同開催

わの円卓会議とは

今年度の円卓会議は「わ」をテーマに開催しています。そのテーマを考える中で、ヒントとなったのが、東通地域医療センターで取り組んでいる「わの手帳」です。

「わの手帳」は、住み慣れた東通村で、いつまでも自分らしく、いきいきと暮らしていくために、自分のことやこれからのことを考えたり、家族や周りの人と話したりするための手帳です。

「わ」には、自分を指す「わ(わい)」、人と人とのつながりを表す「輪(わ)」、会話・対話を意味する「話(わ)」など、さまざまな意味があります。

今年度の円卓会議は、この「わ」をテーマに、自分のこと、地域のこと、これからのことについて、皆さんと話し合う場としています。



地域のこれからを、みんなで考える

これまでに12集落を対象に開催しました。

東通地域医療センターから「わの手帳」について説明していただいたほか、地域の皆さんが日頃から感じている不安や村への要望や課題について意見をいただきました。

また、それぞれの地域のこれからのについても、積極的に意見を交わしました。尻労地区では、円卓会議をきっかけに「自主防災組織」の立ち上げに向けた検討を本格的に進めていくこととなりました。

地域の皆さんと顔を合わせ、地域の課題やこれからについて話し合う中で、新たな取り組みに繋がる動きも生まれています。

6月から8月までの円卓会議にご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。9月以降も引き続き円卓会議を開催しています。地域の将来について、どのようなことでもかまいません。皆さまの率直なご意見をお聞かせください。ご参加をお待ちしております。